

# 世界に通じる KYUSHU (九州)

| 開催日 | 平成30年8月1日(水)～8月2日(木)

| 会場 | 原鶴温泉 ホテルパーレンス小野屋

メイン会場： ホテルパーレンス小野屋 3階「パーレンスホール」

第1分科会： 六峰館 2階「阿蘇」

第2分科会： ビューホテル平成 2階「宝山・香山」

第3分科会： やぐるま荘 1階「大広間」

第4分科会： 咸生閣 1階「鷹・富士」



## 目次

ごあいさつ	2
プログラム	4
基調講演	8
第1分科会 働き方改革とダイバーシティの推進 ～人を活かして生産性向上～	10
第2分科会 新たな産業創出等を目指した取り組みについて	12
第3分科会 スマート農業の促進 ～超省力・高品質化による‘稼ぐ力’の向上～	14
第4分科会 インバウンドを支える空港・港湾連携 ～オール九州での対応～	16
全体会議	18
会場案内図	20
参加者名簿	別冊

## ご あ い さ つ

福岡、大分両県を中心に甚大な被害に見舞われた平成29年7月九州北部豪雨災害から1年が経過したところですが、本年また平成30年7月豪雨災害が発生しました。これらの相次ぐ災害により亡くなられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、被災された方々へ心からお見舞いを申し上げます。九州地方知事会として、一日も早い復旧・復興に取り組むとともに、今後起こりうる大規模災害に備えた防災・減災対策を進めていきます。

さて、本年6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」では、力強い経済成長の実現に向けて、人づくり革命、生産性革命を柱に、地方創生や働き方改革などの取組を進めることとされています。また、同日に閣議決定された成長戦略「未来投資戦略2018」では、第4次産業革命の技術革新を存分に取り込み、「Society 5.0」を本格的に実現するとされています。

九州・山口地域では、官民一体となって九州創生の取組を進めるとともに、九州地域戦略会議でとりまとめた「九州・山口地域第4次産業革命 “Kyushu4.0” 宣言」に基づき、具体的な取組として「スマート農業」に力を入れています。

もとより九州・山口地域には、自動車や半導体関連産業、農林水産業、観光産業等の基幹産業の集積に加え、成長著しいアジアに近接するなどの優位性があります。特に観光産業では、九州・山口の訪日外国人宿泊者数の伸びが全国の2倍となるなど、ビジネスチャンスが拡大しています。

これらの先進的取組や優位性を活かし、官民が一層連携して生産性向上や働き方改革等に取り組んでいくことが、九州・山口地域のさらなる発展に重要だと考えています。

15回目を迎える今回の夏季セミナーでは、「世界に通じる KYUSHU (九州)」を統一テーマに、「働き方改革とダイバーシティの推進」、「新たな産業創出等を目指した取組について」、「スマート農業の促進」、「インバウンドを支える空港・港湾連携」の4つの分科会を設定しました。

九州・山口地域をリードする産学官のトップが一堂に会する貴重な機会です。ご参加の皆様には、ぜひ活発にご議論いただきたいと存じます。

結びに、本セミナーが、「九州はひとつ」という機運をさらに高め、世界に通じるKYUSHU (九州) の実現につながる契機となることを祈念します。

九州地域戦略会議 共同議長

九州地方知事会 会長 広瀬 勝貞

## ご あ い さ つ

平成29年7月九州北部豪雨災害から1年が経過し、被災地において、復旧・復興に向けた懸命な取り組みが続けられる中、さらに平成30年7月豪雨災害が発生し、西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。

相次ぐ災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された多くの方々へ、心よりお見舞いを申し上げます。

被災地の早期の復旧・復興に向け、九州・山口地域の産官学が一体となって、その取り組みを支援していくと共に、大規模災害に備えた取り組みについてもさらに注力していく必要があります。

さて、九州地域戦略会議では、ラグビーワールドカップ2019、女子ハンドボール世界選手権大会、さらに2020東京五輪など、大規模国際スポーツイベントを契機としたインバウンド拡大を背景に、「世界に向けた九州・山口地域のPR強化」を決定し、7月には九州七県と経済四団体のトップによるフランス・パリ市内でのプロモーション活動を実施しました。

九州・山口地域の魅力を現地で直接PRすることで、今後、増加が見込まれる訪日観光客の域内での滞在を伸ばし、各地への周遊誘発を狙いとしたものでありますが、実際のプロモーション活動を通じて、大きな手応えを感じることができました。

また今回、夏季セミナーが開催される原鶴温泉地区についても、朝倉市復興の牽引役と位置付け、現在、九州経済連合会が原鶴温泉旅館協同組合と協力し、壁画アートや浴衣まち歩き等の賑わいづくりを通じ、地域活性化に取り組んでいるところであります。

今後、こうした観光産業を九州・山口地域の基幹産業として成長させていきたいという強い想いを持っています。

今回、2年ぶりの開催となる第15回夏季セミナーでは、「世界に通じるKYUSHU (九州)」を統一テーマに掲げ、九州・山口地域が、明るい未来に向け、大きな発展を成し遂げるための課題として、4つのテーマを設定いたしました。

ご参加の九州・山口地域を牽引する産官学のトップの皆様には、積極的に議論にご参画いただき、是非、次世代の参加意欲を喚起するような地域経済の魅力づくりへの議論としていただきますよう、お願い申し上げます。

本セミナーが、被災地の復旧・復興を支援し、九州・山口地域の地方創生の取組を加速させ、魅力ある地域づくり実現に向けた有意義な議論となるよう祈念いたします。

九州地域戦略会議 共同議長

一般社団法人九州経済連合会 会長 麻生 泰

# 九州地域戦略会議「第15回夏季セミナー」プログラム

第1日 8/1 (水)

会場：パーレンス小野屋 3階「パーレンスホール」

13:30 ■ 開会式

開会挨拶	九州地域戦略会議 共同議長	広瀬 貞 勝
		麻生 泰
	福岡県知事	小川 洋

## ■ 基調講演

「Society 5.0による日本再興とダイバーシティ経営」

株式会社日立製作所 取締役会長 執行役

中西 宏 明

15:30 ■ 分科会

第1分科会 働き方改革とダイバーシティの推進 ～人を活かして生産性向上～

会場：六峰館 2階「阿蘇」

座 長	大分大学 副学長・経済学部 教授	下田 憲 雄
課題提起者	(株)ワーク・ライフバランス 代表取締役	小室 淑 恵
事例発表者	社会医療法人 敬和会 統括院長	森 照 明
事例発表者	(株)西部技研 代表取締役社長	隈 扶三郎

第2分科会 新たな産業創出等を目指した取り組みについて

会場：ビューホテル平成 2階「宝山・香山」

座 長	琉球大学 副学長 (産学官連携担当) 熱帯生物圏研究センター教授	屋 宏 典
事例発表者	(一社)アントレプレナーシップラボ沖縄 代表理事	名 幸 穂 積
事例発表者	(株)先端医療開発 代表取締役	松 原 正 東
事例発表者	(株)FFGベンチャービジネスパートナーズ 取締役副社長	山 口 泰 久

第3分科会 スマート農業の促進 ～超省力・高品質化による‘稼ぐ力’の向上～

会場： やぐるま荘 1階「大広間」

座長	農林水産省 農林水産技術会議事務局研究総務官	菱沼 義久
課題提起者	農研機構農業技術革新工学研究センター 高度作業支援システム研究領域長	八谷 満
課題提起者	(株)日本計器鹿児島製作所 代表取締役社長	吉田 学
課題提起者	鹿児島県 農業開発総合センター茶業部栽培研究室長	深水 裕信
課題提起者	(株)イケマコ 代表	池田 大志
課題提起者	(株)オブティム 取締役	友廣 一雄

第4分科会 インバウンドを支える空港・港湾連携 ～オール九州での対応～

会場： 感生閣 1階「鷹・富士」

座長	慶応義塾大学 商学部 教授	加藤 一誠
課題提起者	(一財)みなと総合研究財団 理事長	山縣 宣彦
課題提起者	敬愛大学 国際学部 特任教授	廻 洋子
事例発表者	(株)MK総合研究所 代表	幕 亮二

18:30 ■ 懇親パーティー

会場： パーレンス小野屋 3階「パーレンスホール」

第2日 8/2 (木)

9:00 ■ 全体会議

会場：パーレンス小野屋 3階「パーレンスホール」

全体会議座長		麻 生 泰
分科会報告	大分大学副学長・経済学部 教授	下 田 憲 雄
	琉球大学 副学長(産学官連携担当) 熱帯生物圏研究センター教授	屋 宏 典
	農林水産省 農林水産技術会議事務局研究総務官	菱 沼 義 久
	慶応義塾大学 商学部 教授	加 藤 一 誠

10:30 ■ 閉会



## 基 調 講 演

# 「Society 5.0 による日本再興とダイバーシティ経営」

株式会社日立製作所 取締役会長 執行役

中 西 宏 明 (なかにし ひろあき) 氏

### 略 歴

1946年生まれ。神奈川県出身。

#### (学歴)

1970年 3月 東京大学 工学部 電気工学科 卒業

1979年 7月 米国Stanford 大学院 修了

(コンピューターエンジニアリング学修士課程)

#### (職歴)

1970年 4月 株式会社日立製作所 入社 大みか工場 計算制御設計部 配属

2003年 6月 執行役常務

2004年 4月 執行役専務/北米総代表 兼 欧州総代表

2005年 6月 執行役専務/北米総代表 兼

日立グローバルストレージテクノロジーズ社 取締役会長 兼 CEO

2006年 4月 執行役副社長/北米総代表 兼

日立グローバルストレージテクノロジーズ社 取締役会長 兼 CEO

2010年 4月 代表執行役 執行役社長

2010年 6月 取締役 代表執行役 執行役社長

2014年 4月 取締役 代表執行役 執行役会長 兼 CEO

2016年 4月 取締役会長 代表執行役

2018年 4月 取締役会長 執行役

現在に至る

#### (社外)

2014年 6月 一般社団法人 日本経済団体連合会 副会長

2015年 9月 日本銀行 参与

2018年 6月 一般社団法人 日本経済団体連合会 会長

2018年 7月 経済財政諮問会議 議員

Memo

## 【第1分科会】働き方改革とダイバーシティの推進 ～人を活かして生産性向上～

### 主 旨

人口減少社会の進展により、労働力人口が減少する中で、産業人材の確保・定着を図るには、長時間労働の是正や両立支援の充実など、働きやすい職場環境づくりを経営戦略として推進する必要がある。

また、変化し続けるビジネス環境や多様化する顧客ニーズに柔軟かつ効果的に対応するためには、性別や年齢、国籍等を問わず多様な人材を活用するダイバーシティについても、積極的に推進していかなくてはならない。

働き方改革及びダイバーシティを推進するにあたっての課題と取組方法などについて議論する。

### 論 点

- ① 働き方改革とダイバーシティ推進の必要性について
- ② 長時間労働の是正をはじめとした働き方改革に向けた取り組みについて（中小企業の取組とケーススタディ）
- ③ ダイバーシティの推進について（中小企業の取組とケーススタディ）

### 座 長

大分大学 副学長・経済学部 教授 下田 憲雄（しもだ のりお）氏  
（大分県働き方改革推進会議 会長）

### 経 歴

1986年	関西学院大学大学院経済学研究科博士課程修了	甲子園大学専任講師
1990年	大分大学経済学部	助教授
1998年	大分大学経済学部	教授
2008年	大分大学経済学部長	
2010年	大分地方労働審議会	公益代表
2013年	大分地方最低賃金審議会	会長
2015年	大分大学副学長	現在に至る

---

### 課題提起者

#### ● 「全般に係る課題提起」

(株) ワーク・ライフバランス 代表取締役 小室 淑恵 氏

・2006年に(株)ワーク・ライフバランスを創業し、これまで900社以上の働き方改革を成功に導いている。  
内閣府の「男女共同参画会議 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する専門調査会」委員、  
「新しいライフスタイルの創出と地域再生に関する調査研究」研究委員会委員など多数歴任。

#### ● 「事例発表」

社会医療法人敬和会 統括院長(大分岡病院) 森 照明 氏

・残業時間縮減により削減した残業手当を還元するほか、外国人材の登用等ダイバーシティの推進にも取り組む。

(株) 西部技研 代表取締役社長 隈 扶三郎 氏

・女性の結婚・出産退職ゼロ達成、男性育休100%を目指す。外国人登用(営業、経理)によるグローバル展開を進めている。

Memo

## 【 第2分科会 】 新たな産業創出等を目指した取り組みについて

### 主 旨

第4次産業革命の到来などにより激変する環境変化のなか、九州・山口地域の更なる経済発展の原動力となる新たな産業イノベーションを創出するためには、起業家マインドを持つ人材を育成し、大学発ベンチャーや産業界での新規事業創出を促進することが必要である。

本分科会においては、大学におけるアントレプレナーシップを有する人材の育成や九州発ベンチャー企業の挑戦、大学発ベンチャーの振興などの取組事例について、現状や課題を共有し、新たな産業創出等を目指した仕組みづくり等について議論する。

### 論 点

- ① 大学におけるアントレプレナーシップを有する人材の育成について
- ② 新技術を取り入れたベンチャー企業の挑戦
- ③ 九州の大学、経済界が一体となった大学発ベンチャーの振興について

### 座 長

琉球大学 副学長（産学官連携担当）

琉球大学熱帯生物圏研究センター 教授

屋 宏典（おく ひろすけ）氏

### 経 歴

- 1985年 3月 九州大学大学院農学研究科博士課程修了（農学博士）
- 1985年 4月 琉球大学 助手 農学部
- 1985年 12月 文部省在外研究員 カナダ アルバータ州立研究所（～1987年）
- 1988年 4月 琉球大学 助教授 農学部
- 2001年 10月 琉球大学 教授 遺伝子実験センター
- 2008年 4月 琉球大学 教授 分子生命科学研究センターに配置換え
- 2009年 4月 琉球大学 教授 熱帯生物圏研究センターに配置換え（～現在）
- 2015年 4月 琉球大学 副学長（産学官連携担当）（～現在）

---

### 事例発表者

- 「琉球大学における起業家人材育成の取り組み」  
（一社） アントレプレナーシップラボ沖縄 代表理事 名幸 穂積 氏
- 「九州・沖縄発地方バイオベンチャーの挑戦」  
（株）先端医療開発 代表取締役 松原 正東 氏
- 「大学発ベンチャー振興のために必要な方策について」  
（株）FFGベンチャービジネスパートナーズ 取締役副社長 山口 泰久 氏



## 【第3分科会】 スマート農業の促進 ～超省力・高品質化による‘稼ぐ力’の向上～

### 主 旨

大規模法人が育成されるなど農業経営の規模拡大が進む一方で、労働力不足が顕在化していることから、ロボット技術やICTを活用して超省力・高品質生産を実現するスマート農業の普及が重要であり、九州の特徴を伸ばし、‘稼ぐ力’の向上に繋がる技術について、推進の方向性と普及を図る上での社会的な課題について検討する。

### 論 点

- ① 国におけるスマート農業の方向性と課題
- ② 生産現場におけるスマート農業の活用事例と今後必要とする新技術
- ③ スマート農業がもたらす農業の将来像と実現に向けた課題
- ④ 九州の特徴をのばすためのスマート農業研究の方向性

### 座 長

農林水産省農林水産技術会議事務局研究総務官 菱沼 義久（ひしぬま よしひさ）氏

### 経 歴

1983年 3月 東北大学農学部農学科 卒業  
1983年 4月 農林水産省入省  
2010年 7月 大臣官房参事官（兼 生産局）  
2011年 9月 生産局農産部園芸作物課長  
2015年 8月 農林水産技術会議事務局研究総務官

---

### 課題提起者

- 「社会実装に向けたスマート農業の現状と今後」  
農研機構農業技術革新工学研究センター  
高度作業支援システム研究領域長 八谷 満 氏
- 「茶園ロボット開発によるスマート農業の促進」  
(株) 日本計器鹿児島製作所 代表取締役社長 吉田 学 氏  
鹿児島県農業開発総合センター茶業部 栽培研究室長 深水 裕信 氏
- 「ドローン、センサー、AI（人工知能）を活用したスマート農業への取り組み事例  
～“稼げる農業”をIoT・AIを使って実現する～」  
(株) イケマコ 代表 池田 大志 氏  
(株) オプティム 取締役 友廣 一雄 氏

Memo

## 【第4分科会】 インバウンドを支える空港・港湾連携 ～オール九州での対応～

### 主 旨

増大するインバウンド旅客に対応し、交流人口及び消費額を増やしていくためには、個別の空港施策に加え、九州全体としての受入れ戦略が必要である。2023年度の九州へのインバウンド旅客の目標値786万人を実現するためには、各空港の持つ能力を最大限に利活用し、九州全体で多面的に受け止めていかなければならない。

一方で、当地域の大きな特徴としてクルーズ船による観光客の増加が今後も見込まれており、広域観光の視点から面展開を図って行くためには、フライ&クルーズといったモード間の接続も重要であり、二次交通を含め新たな受入れ対応策を検討していく必要がある。

受入れの起点となる空港・港湾の連携を深め、ストックを有効活用することで、九州全体の振興へと繋げていくための課題や方策について議論を深める。

### 論 点

- ① 九州における空港・港湾の現状と課題
- ② 広域観光の視点からの空港・港湾連携
- ③ 二次交通を含めたモード間接続

### 座 長

慶応義塾大学 商学部 教授

加藤 一誠 (かとう かずせい) 氏

### 経 歴

- 1987年 3月 同志社大学 経済学部 卒業  
1989年 3月 同志社大学 修士(経済学)  
2000年 4月 関西外国語大学 外国語学部 助教授  
2002年 3月 同志社大学 博士(経済学)  
2005年 4月 日本大学 経済学部 教授  
2015年 4月 慶應義塾大学 商学部 教授(～現職)

### 課題提起者

#### ● 「事例発表」

(一財) みなと総合研究財団

理事長 山縣 宣彦 氏

・北九州市港湾空港局長、国土交通省港湾局技術企画課長、技術参事官、国土交通省港湾局長等を歴任。

敬愛大学

国際学部特任教授 廻 洋子 氏

・観光マーケティング専門、国土交通省運輸審議会委員、交通政策審議会委員等を歴任。

#### ● 「課題提起」

(株)MK総合研究所

代表 幕 亮二 氏

・集客・交流コンサルティングチームリーダー、空港民営化事業チームリーダーとして、官・民の交通・集客事業計画の策定・コンサルティング業務に従事。



全体会議

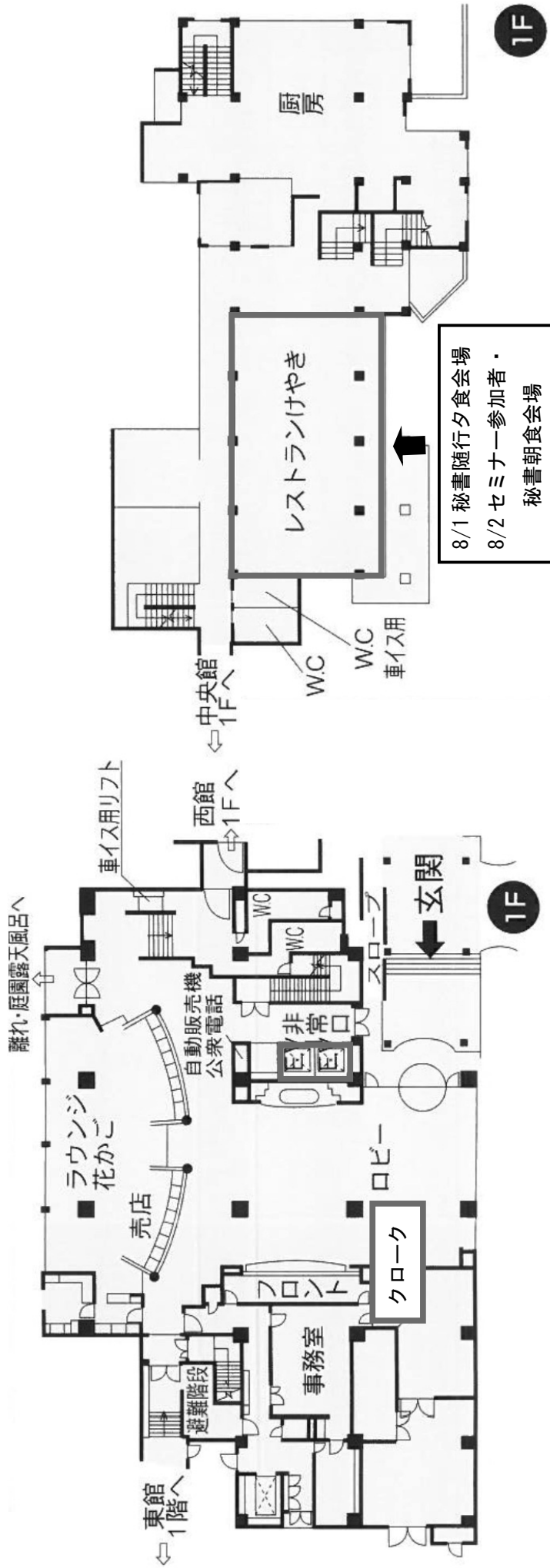
Memo

---

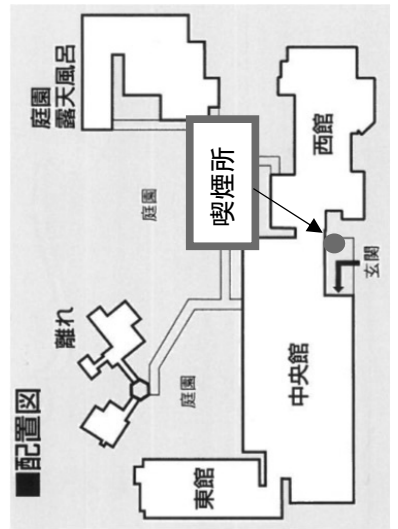




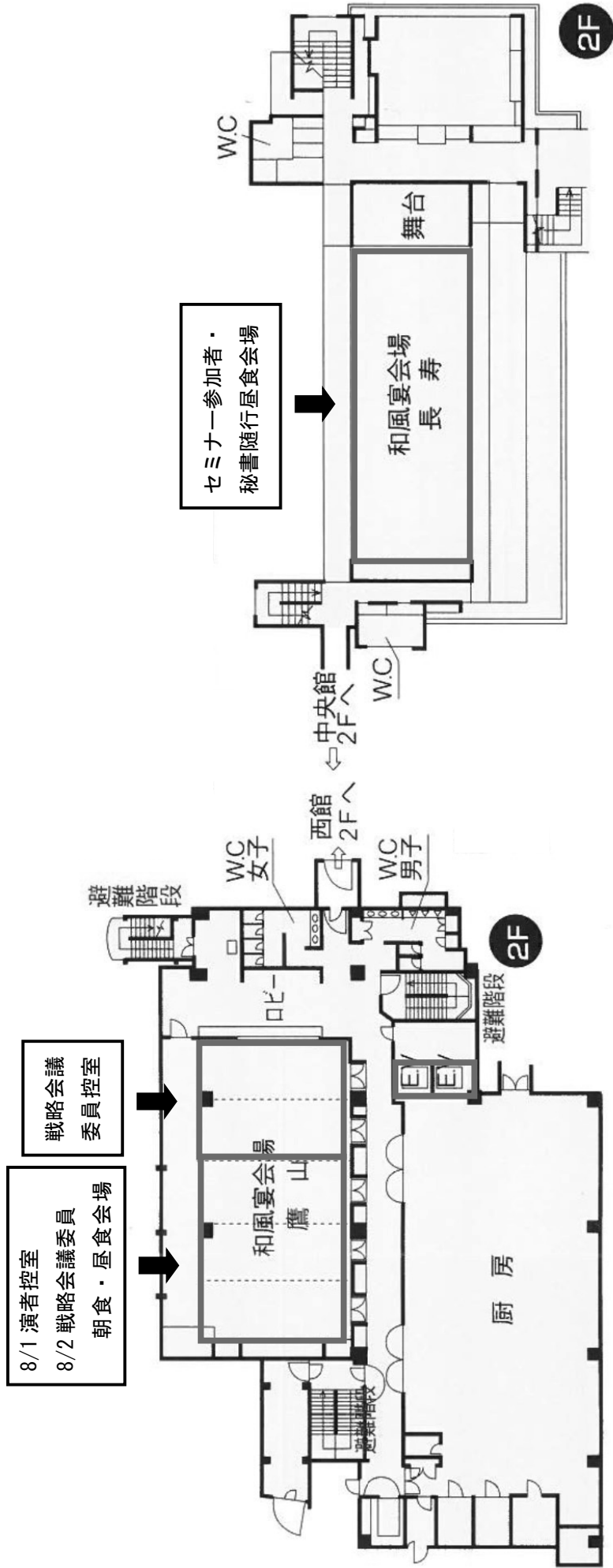
資料 2 セミナー会場案内図 (1F)



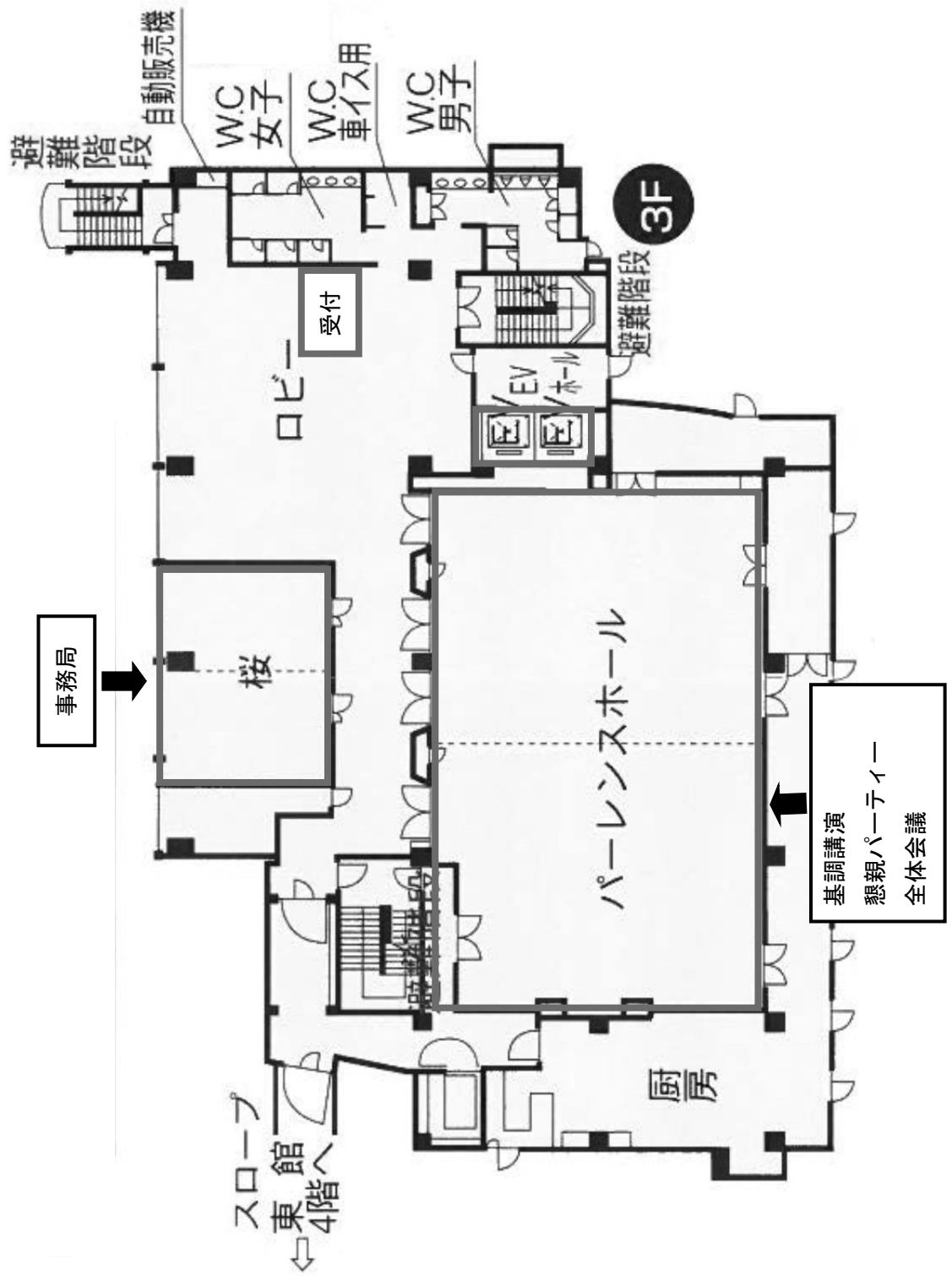
8/1 秘書随行夕食会場  
8/2 セミナー参加者・  
秘書朝食会場



資料3 セミナー会場案内図 (2F)

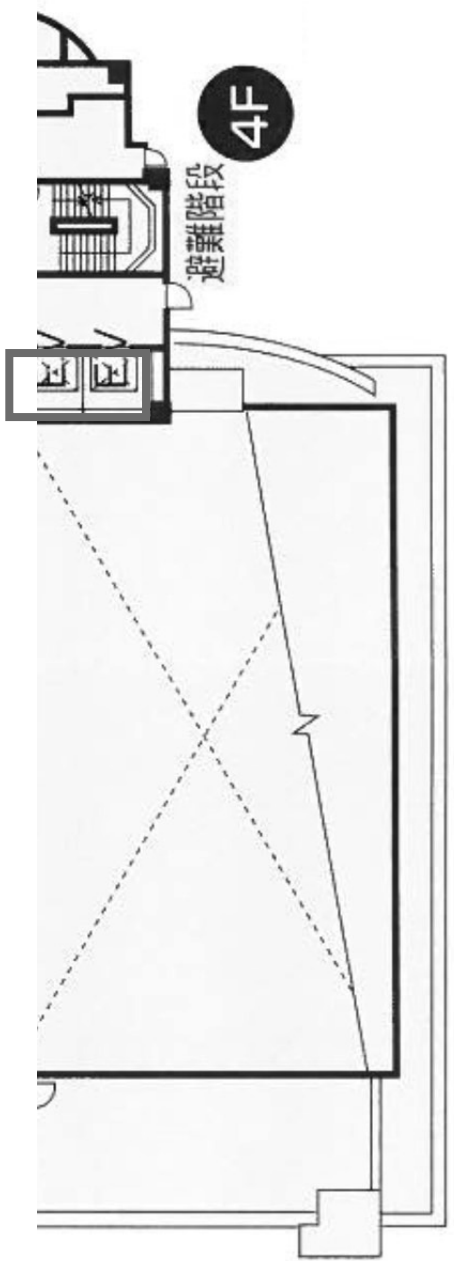


資料 4 セミナー会場案内図 (3F)



資料5 セミナー会場案内図(4F)

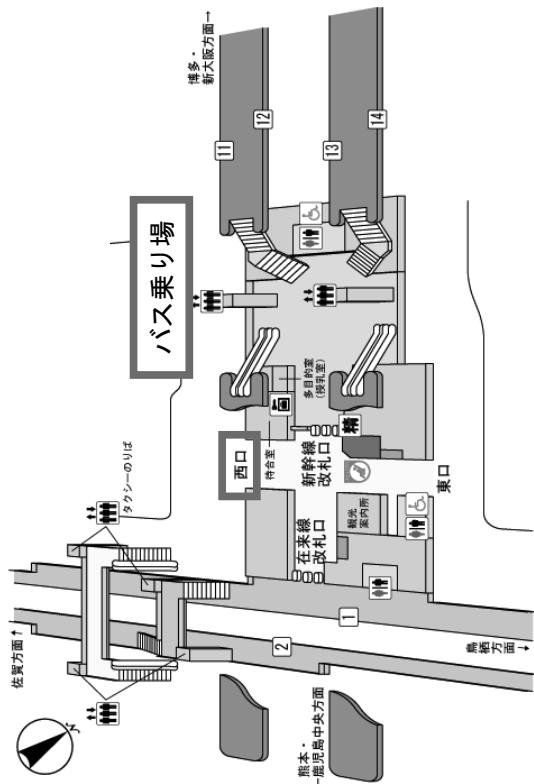
師室	講控
生長室	麻会控
瀬事室	広知控



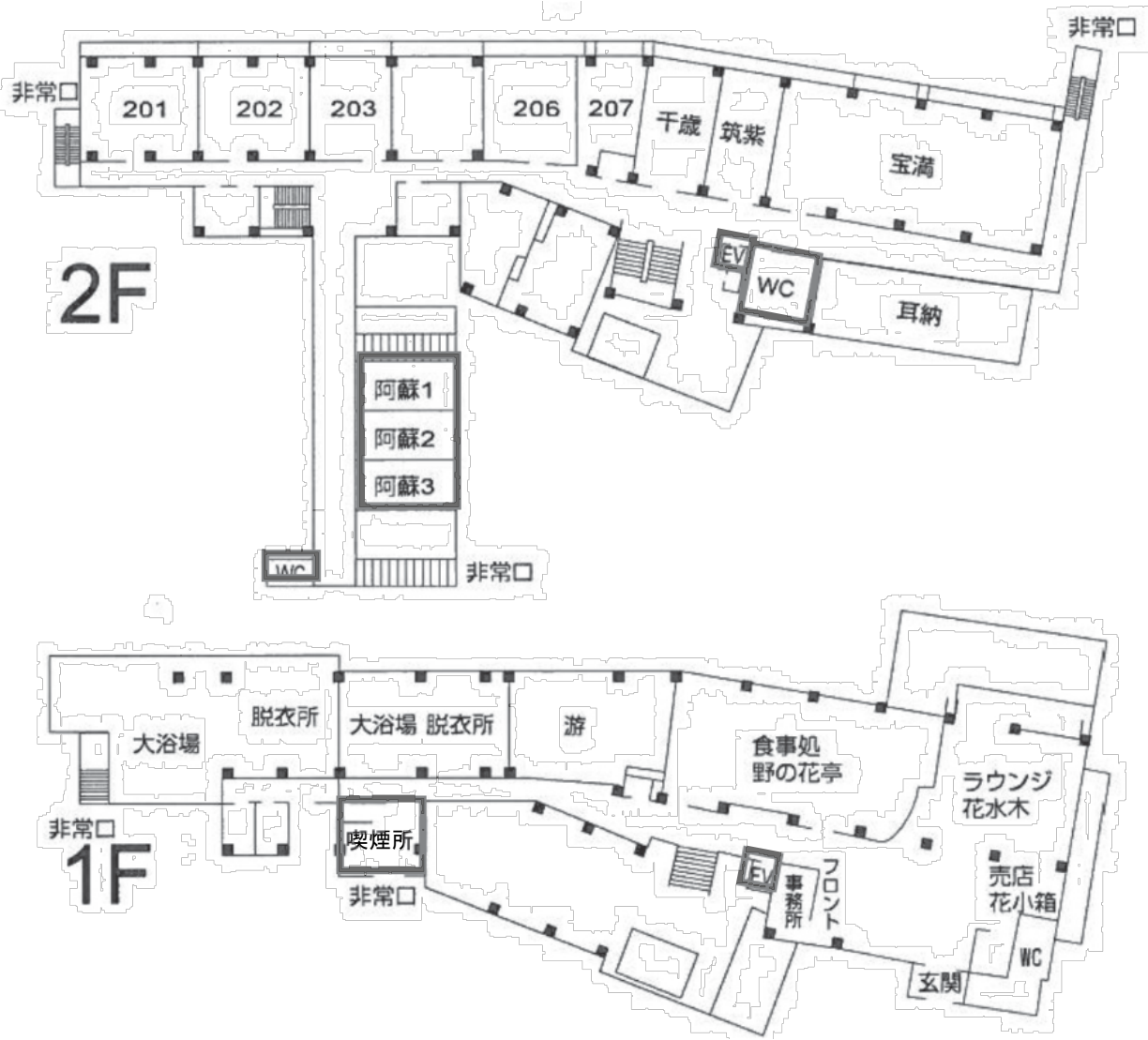
資料6 産業視察先案内図



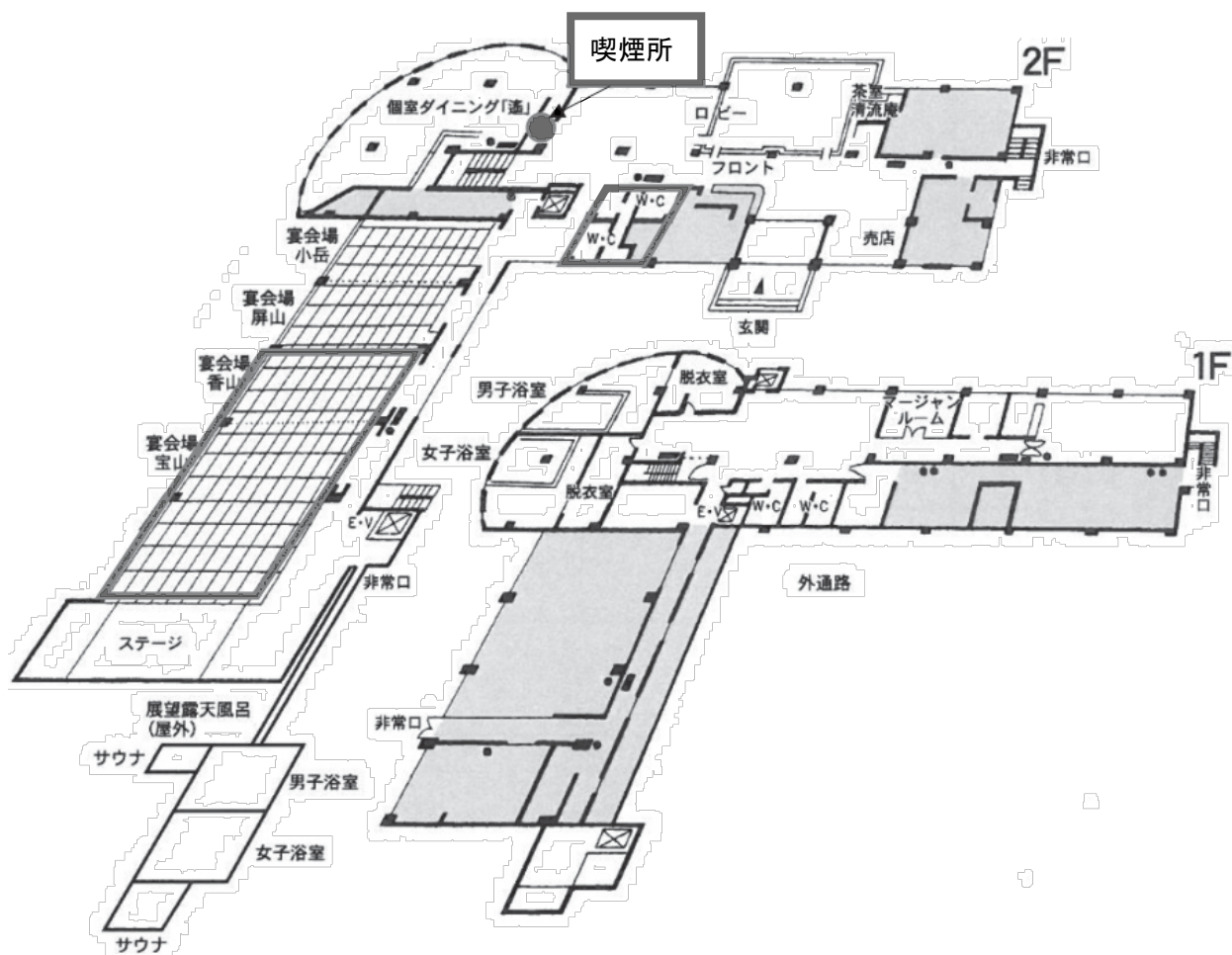
資料7 新鳥栖駅案内図



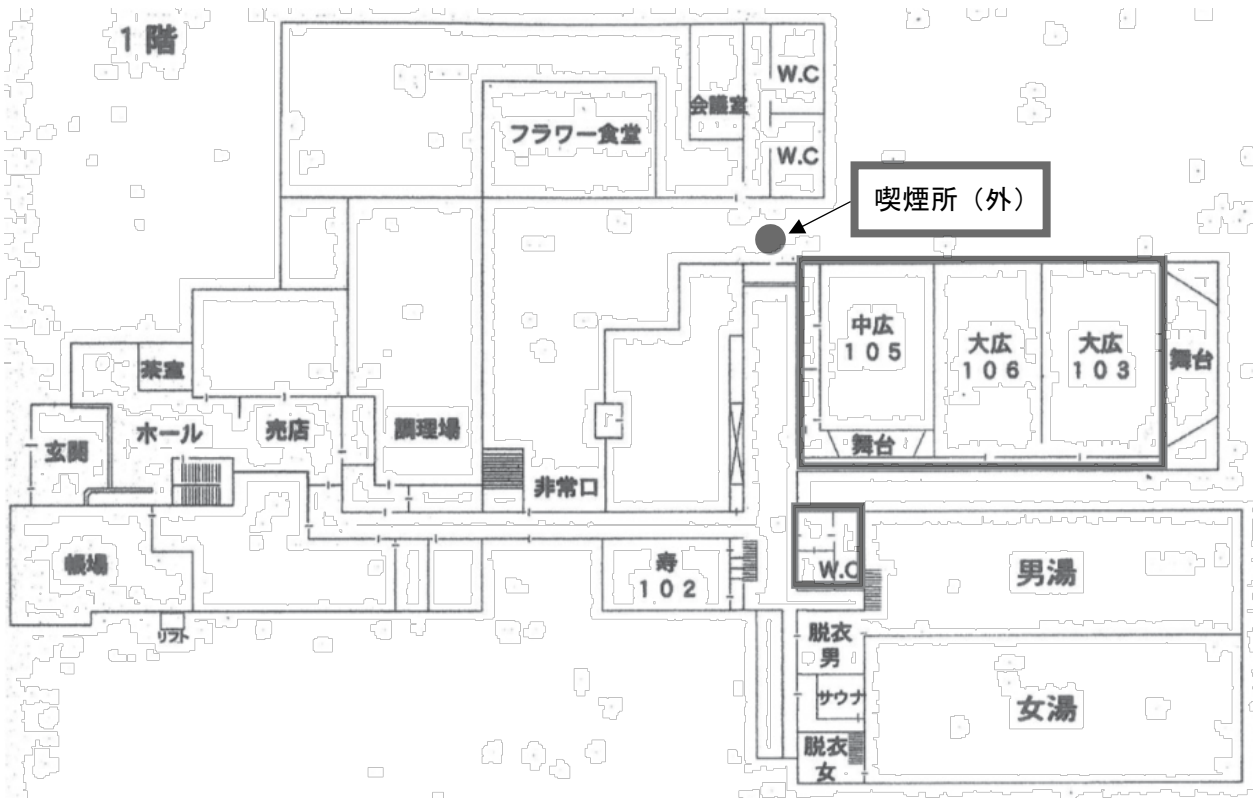
第1分科会会場 六峰館 2F「阿蘇」



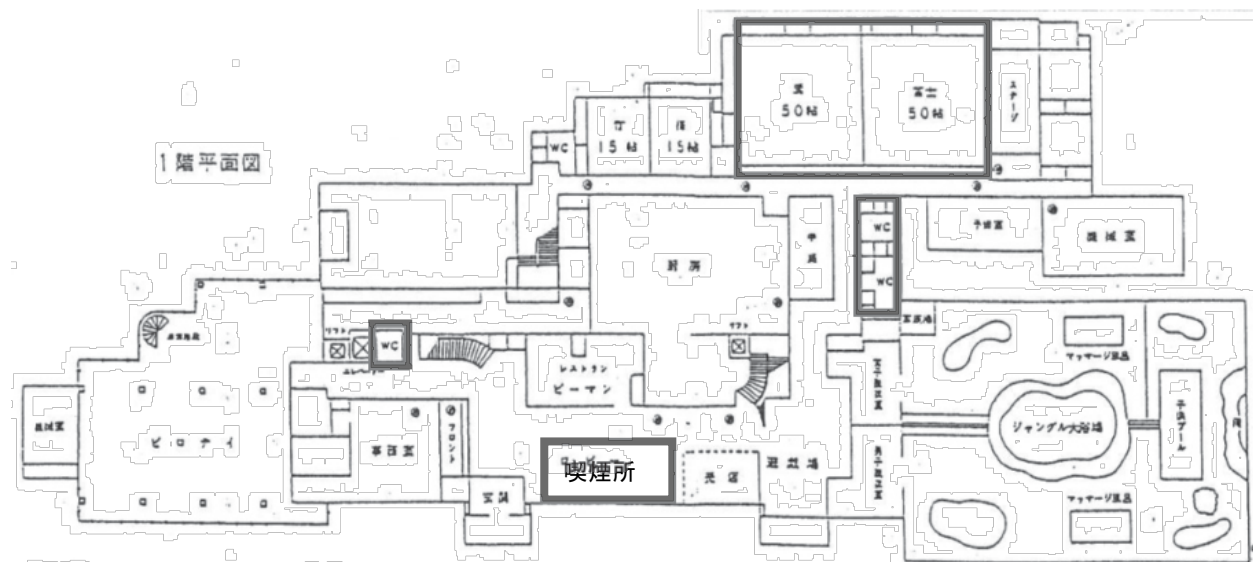
第2分科会会場 ビューホテル平成 2F「宝山・香山」



第3分科会会場 やぐるま荘 1F「大広間」



第4分科会会場 咸生閣 1F「鷹・富士」



## 九州地域戦略会議 事務局

九州地方知事会  
〒870-8501  
大分市大手町 3-1-1  
大分県総務部行政企画課内  
電話 (097) 506-2482  
FAX (097) 506-1712

一般社団法人 九州経済連合会  
〒810-0004  
福岡市中央区渡辺通 2-1-82  
電気ビル共創館 6階  
電話 (092) 761-4261  
FAX (092) 724-2102